

# 令和2年度第1回おたづき蔵通り（南町工区）意見交換会 ニュースレター

令和2年8月 喜多方市役所建設部都市整備課

平成30年度に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された小田付地区では、南町工区における裏配線方式での無電柱化が昨年度に実現しました。

今回の意見交換会では、これまで検討を進めてきた道路の整備に関する、現計画案についての問題点とそれに対する改善策を話し合い、道路整備の主要な計画断面を決定しました。また照明施設についても、小田付にふさわしい灯りのあり方や、歩行者や夜間の安全性について話し合いました。

令和2年度第1回

## おたづき蔵通り（南町工区）意見交換会 の開催報告

R2.8.2（日）18：00～  
於：会陽館（東町）

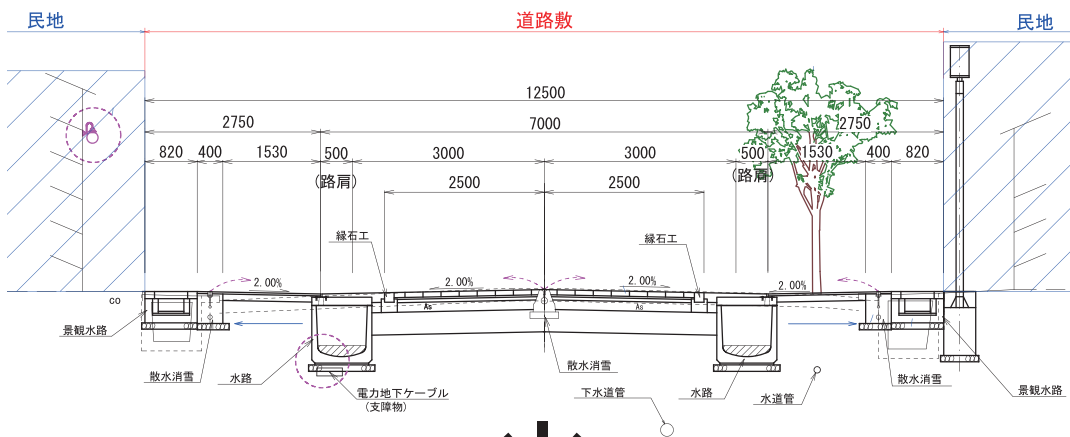
第1回意見交換会は、次のような内容で行いました。

1. あいさつ
2. 説明（道路断面について）
  - (1) 令和2年度以降の工事工程（予定）
  - (2) 現計画案についての問題点と改善策
3. 意見交換（照明施設について）
4. その他

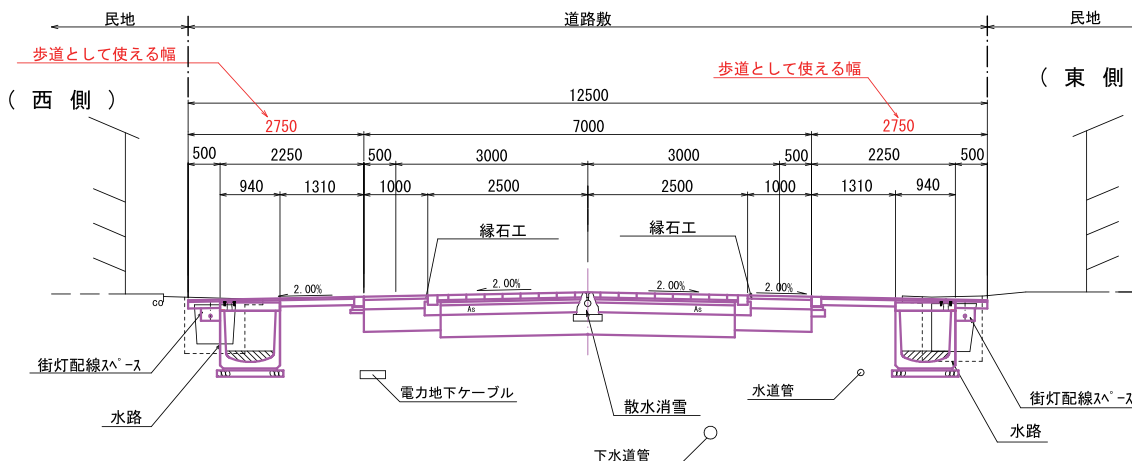


## これまで進めてきた計画案の問題点と改善策

### 現計画案



### 決定計画断面



### 主な決定事項

1. 水路の位置  
電力の地下ケーブルと水路がぶつかるため、歩車道境界側から民地側に設置。
2. 歩道部の散水消雪  
歩道部に散水消雪を設置すると多くの水量を必要とするため、車道部散水で歩道部消雪を行う。
3. 見せる水路について  
少ない流量や蓋掛け部が多く、良好な水路を維持できないため、見える水路は設置せず、歩道幅員を広くした整備とする。
4. 街路樹について  
管理や歩道幅員の狭さの課題より、街路樹は設置せず、歩道幅員を広くした整備とする。
5. 舗装工法  
石張り舗装の選定時から時間が経過し新しい工法も出てきているため、よりよい工法を比較再検討していく。
6. 照明施設  
民地設置の場合、所有者の承諾等が必要なため、水路・街路樹を設置せず歩道部に余裕ができたことから、道路敷地内への設置で再検討していく。

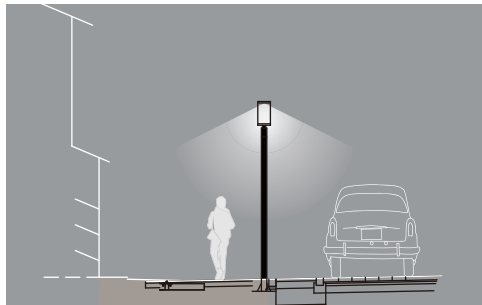
裏面へつづく→

# 道路敷地内への設置を基本とした **照明施設設計案** について



見せる水路の設置予定だったスペースを利用し、安全な歩道幅員を確保しながら、道路敷地内への照明施設の設置を基本として、設置位置とデザインの検討を進めていきます。

## A案 ポール照明のみ ：歩車道境界に設置案



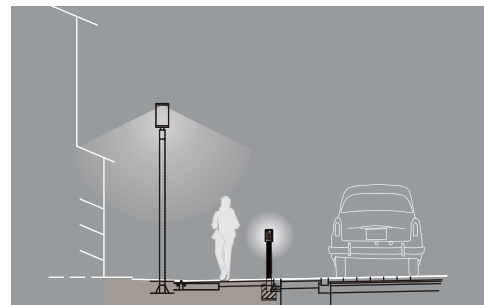
- 歩車道境界がわかりやすく安全
- 歩道・車道ともに明るさが均一
- △ 歩車道の一体的な利用がしにくい
- △ ポール部分が通りの景観をやや阻害

## B案 ポール照明のみ ：民地側に設置案



- 歩道空間が広く感じられる
- 歩道・車道ともに明るさが均一
- 沿道の建物も灯され演出できる
- △ 屋内への影響等照らす方向に工夫が要

## C案 足元灯（歩車道境界） + ポール照明（民地側）設置案



- 歩車道境界のボラードの役割も果たし、歩行者の安全性の確保が図れる
- △ 歩道が最も狭くなる
- △ 明るさ確保のため多くの足元灯が必要

## 主な意見

### ボラード

- ・通りを歩いているとボラードの必要性を感じる。なくなると不安ではあるが、空間的にはないほうがよいこともあり、判断がむずかしい。
- ・他の重伝建地区がどんな配慮をしているか知りたい。

### 維持管理等

- ・歩車道境界の照明は、車がぶつかり壊されることが多く、そのまま放置されるとみすぼらしい。設置する場合は、交換がしやすい汎用性のあるものなどを考慮すべき。

### 小田付らしい灯りの創出

- ・蔵のライトアップ計画を考慮し、照明施設は明るすぎないほうがいい。
- ・定期的に配置すると小田付の良さが生かせないという話もあり、通りに面したいろんな表情の建物の魅力を生かした壁面照明計画であったということも考慮したい。

### その他

- ・東側の照明を廃止しており暗い。整備されるまでの間、仮設の対応をしてほしい。
- ・既設の街路灯は倒壊の恐れがあり危険なので早く撤去してほしい。

照明施設については、今後実証実験を実施し以下のことを検証していきます！

## A・B・C 設置案の決定

- ★ポール灯を民地側と歩車道境界側とにそれぞれ配置してみて、昼間の景観や夜間の光の関係を比較する。
- ★足元灯を歩車道境界に配置してみて、昼間の景観や安全性の確認、また足元灯・ポール灯をセットで配置し、夜間の歩道部の明るさを確認する。

## ポールの灯具デザイン・取付高さ

- ★裸のランプに灯具の装飾をセットしてみて、器具のスリットを通した光や明暗の変化など、光の演出と照度のバランスからデザインを検討する。
- ★屋根並みや蔵のまちなみにふさわしい高さを、車の運転手の目線と歩行者の目線の両方から検討する。

## ポールの設置間隔と照度

- ★ポール灯の設置間隔や設置箇所を現場で確認する。（店舗や住宅等の現ライトアップの光等も考慮）
- ★2灯程度を用いて、夜間の照度（設置間隔やランプの明るさや光色）を検討する。

## 照明デザイン例



問合せ

喜多方市 建設部  
都市整備課 事業管理係  
TEL：0241-24-5241

今回頂きました意見につきましては、広く今後のまちづくりへの取り組みや、現在設計中の道路整備・街路灯整備に反映していきます。今後も実証実験や意見交換会を開催していきますので、ご協力をお願いします。